

池井戸潤から仮想通貨まで、トップインタビュー5連発

平成30年8月1日発行 海月刊紙 第1回発行 品番33春第6号 (通巻415号)
発行 61年 12月8日 第3版縮刷物

Monthly

BOSS

経営者に
直撃!!

第2特集 *The Second Special Feature*

映画化記念!
池井戸潤
作品の魅力

8

Aug. 2018

¥600

大特集

トップインタビュー

ジョルダン

佐藤俊和 社長

Dropbox
Japan

五十嵐光喜 社長

マネックスグループ

松本 大 社長

明治安田損害保険

酒井明夫 社長



クローバー社長
香丸俊幸

「介護」の先に「共生」を目指す 地域密着型デイサービス

こうまる・としゆき 1972年5月1日生まれ。東京都出身。(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)ベンチャー・リンクを経て経営コンサルタントとして独立。IT企業や外食企業の役員などを歴任して2010年に(株)CLOVERを創業。「人が幸せになるコミュニティづくり」をコンセプトに地域密着型デイサービスや放課後等デイサービス、飲食店、経営コンサルティング等の経営をしている。



——クローバーの事業内容を教えてください。

主に福祉事業を手がけています。地域密着型の「お泊まりデイサービス」(通所介護を利用し、そのまま施設に宿泊も可能な介護サービス)を都内に7件、発達障害児童向けの放課後デイサービスを1件。そのほか、飲食店や「コンサルタント業などです。

——介護業は現在約10兆円市場で、なお

拡大中。特別養護老人ホームは全国で約52万人の入所待ちとも言われていますが、デイサービスの状況はいかがですか。

デイサービスは土日休みで9時~17時までの利用時間、自宅まで送迎して入浴や昼

食、レクリエーションを行い、帰宅するというサービスが一般的です。事業所は全国で4万カ所以上。意外かもしれませんのが、これはコンビニとほぼ同じ規模です。事業所数としては飽和状態を迎え、今後は淘汰されしていくでしょう。

そうしたなかで、クローバーは年中無休で、20時頃まで延長可能、必要に応じて宿泊もできるというサービス内容。共働きで17時に帰宅できない家庭でも利用しやすく、介護者が旅行に行くため2泊3日でお預かりするなども可能。前日からの緊急宿泊対応ができる場合もあります。1日10~18名ほどの利用をいただき、うち宿泊され

る方が5名ほどです。

——事業所は、千駄ヶ谷、神楽坂、代々木上原、広尾、四谷、参宮橋、本八幡。都心の高級住宅地ばかりですね。

立地選びには戦略があります。介護事業者に支払われる介護報酬は、事業所の立地にかかわらずほぼ一律。つまり、家賃や人件費が安い場所で営業したほうが利益が出やすい構造です。逆に言うと、都心部は介護施設が開業しにくく、競争率は下がるとのことです。利益率も下がりますが、利用者が増えればバランスする。価値の高いサービスを提供し続ければ勝てると考えています。

スタッフが発見し、提案

——サービスの強みと特徴は。

強みはケアの手厚さ。利用者のプロフィールを出来る限り細かくヒアリングし、そのうえで、通常のレクリエーションやケアに加え、一人ひとりに合わせた個別のケアを行っています。たとえば、利用者が住んでいた街や結婚式を挙げた場所に外出する。ほかにもオリジナルの歌を作ったり、ダンスをしてミュージックビデオを作つてみたりと、ユニークなレクリエーションをその都度行っています。こうしたサービスはマニュアル化しているわけではなく、スタッフがケアを通して自ら発見し、提案してくれる場合がほとんどです。

スタッフからのアイデアに出来る限りノートを言わないという姿勢も特徴かもしれません。ダブルワークを歓迎したり、スタッフが子供を連れて出勤するのもできます。待機児童問題が解決されないなか、働きながら自分の子供もみたいというスタッフの要望によるものでしたが、子供がそばにいることで、利用者のお年寄りをすこ元気つけることがわかりました。ほとんど無表情だった認知症の利用者が、子供を見て笑いはじめたり、1キロの重さも持てない

はずの利用者が、赤ちゃんを抱き上げる」とができます。不思議なことも起ります。

した。子供は最強のスタッフかもしれません。

いかに利用者に親身になり、気遣ってくれるスタッフを採用して育てるかは非常に重要です。現在社員は約40名、パートも含めると70名というところ。スタッフは特別養護老人ホームから転職してきた方、音楽や演劇や書道などのアーティストなどもいて実にさまざまな経験です。出来る限り私自身が面接して選んでいます。

「世話」ではなく「役割」を

——今後の展望をお聞かせください。

現在は年商5億円ほど、5年で倍増が目標です。今後の事業を引き継ぎつつ、新しい介護のかたちを模索しています。「注文をまちがえる料理店」(認知症の方がウエイターのレストラン)や「認知症カワエイ」(認知症の方や家族が交流できるスペース)はすばらしいアイデアです。単に世話をすることでなく、利用者に役割を持つてもらう発想ですね。

介護とシナジーがある新事業も考えています。たとえばケアサービスの事業所の近くに保育園をつくり、地域のなかで介護と